

ゆに通信 第5号

(一般公開用) 2013年12月10日発行
編集: NPO 法人ゆに 事務局



※ロゴが新しくなりました

理事長御挨拶

ゆに関係者の皆様

いつもゆにを応援していただき、ありがとうございます。会報のゆに通信ができましたので、送らせていただきます。是非読んでいただきたいと思います。

この11月には無事に総会を開催することができました。ありがとうございます。

ゆにの活動も3年目ということもあり、各事業とも充実してまいりました。7月からはゆにラジオという新しい活動も始めています。

今後ともゆにの応援をどうぞよろしくお願いいたします。

ゆに代表・佐藤謙



学生スタッフによるミーティング



関西学生サミット出展の様子

関西学生サミット

10月6日京都産業会館にて関西学生サミット(大学の枠を超えた文化祭)にブース出展してきました。約1000人の来場者に向けて紹介映像の上映と、新たな試みの「ゆにラジオ」の公開収録、ブースでの活動紹介を行いました。

数十名の学生がブースを訪れ、実際に1名の学生がスタッフとして登録してくれました。

総会開催の御報告

平成25年11月2日立命館大学にて平成25年度総会を開催いたしました。30名のご参加を頂きました。



総会での集合写真

平成24年度 ゆに 活動報告



障がい学生支援についてご報告いたします。

概要

| 分野 | 概要 |
|------------|---------------------------------------|
| 講座・講演等 | 件数：5件 延べ受講者：482人 |
| 大学間サポーター派遣 | 2大学、32コマ 利用学生数：4名 ノートテイク・定期試験代筆 |
| 進学相談 | 3件 脳性まひ・筋萎縮症など |

新しい取り組み1 ゆに×ラジオ～むっちゃんのHappy Train～

平成25年8月より発達障がい当事者スタッフ武藤崇史(DJむっちゃん)によるインターネットラジオの制作を開始しました。発達障がいや身体障害の有無にかかわらず、生き辛さを抱えた人たちへ届けたい、彼らの居場所を作りたいという思いを持って日々お届けしています。



こんにちは！ゆにラジオ『むっちゃんのhappy train～』のDJをやっているむっちゃんこと武藤崇史です。京都産業大学卒で23歳、発達障がい当事者です。

この度、私の提案でゆにラジオを始めさせて頂きました。周囲のサポートで成り立っております。障がい有無関係なく、みんながhappy happy、元気になればという思いから、ゆにラジオが産声を上げました。ゆにラジオを始めて、特に当事者からの投稿が多く、様々な方から温かいメッセージを頂いております。学生アシスタントに入って頂き、DJのボケあり笑いあり、真剣に話す部分もあり、とても明るいラジオになっていると感じています。

今後、目指すものとして、「生きづらさを抱えた方の居場所を提供したい！」という気持ちがあり、ゆにラジオを始めましたので、ゆにラジオの発展、何かイベントができればと考えております。内輪だけにならないようにしたいですね。(笑)

ゆにラジオの今後の関わり方としては、学生のアシスタントにどんどん活躍してもらい、また教育機関、福祉機関などと連携、コラボできればと考えております。交流カフェを企画することで、絆を深めることが私の夢です。

今後とも、ゆにラジオを何卒、よろしく願いたします。

武藤 崇史

新しい取り組み2 大学向け営業活動開始

7月より関西圏の大学を訪問し、現状のヒアリングとゆにの紹介に取り組んできました。6大学を訪問し、見えてきた課題とそれに対する取り組みをご紹介します。

・教職員向け研修のニーズ

障がい学生を受け入れる授業や支援部署以外の事務窓口等での理解が十分ではなく、特に教員へ実際の支援内容や、障がいについての理解を深めてもらい、支援への協力や授業内容の配慮を得やすくする必要があります。ex) ノートテイクを体験してみる等

→教職員向け研修をメニュー化できるように、具体的ニーズのあった大学と調整を進めています。

・専門分野に対応できるノートテイクの確保

小規模な単科大などの専門的な授業では同分野の学生がすべて受講生であり、テイク等の支援に回れる学生が確保できない。同系分野を学ぶ他大学の学生の派遣があれば活用したい。

→ノートテイクを増やし、多様な大学の学生スタッフをニーズに応じて派遣できるようにノートテイク養成に取り組んでいます。平成25年はゆにが派遣できるノートテイク10名を確保できるよう養成講座・勉強会を開催していきます。

・大学外の人員（他大学の学生等による支援）

入試や定期試験など、内部の学生アルバイトのサポーターが適さない分野がある。厳密な公正さを求められる場面において外部からのサポーターの需要がある。

→大学間支援の制度の周知を各大学に進めるべく、近隣の大学や、学生スタッフの在籍する大学、学生相談のあった大学などへ訪問し、ニーズの聞き取りと事業紹介を行っています。

・「合理的配慮」についての考え方についての悩み

発達障がいなど、旧来支援対象でなかった障がいの学生への支援や配慮についてどこまでが「合理的な配慮」なのか線引きが難しい。また、実際に支援に入るためのノウハウも大学間であまり共有されていない。

→ゆににおいても、支援実績のない分野が多く、当事者スタッフ（武藤）の経験や、日本学生支援機構主催のセミナー等で現状や支援の必要性を学び、大学向けのサポートメニューを提供できるように努めています。

障がい学生相談

今年度、相談のあった学生は知人を通じての紹介やゆにのホームページからの問い合わせ等をきっかけに相談を頂きました。中にはサポーター派遣をしていた大学の利用学生さんより、当法人まで直接大学院進学についての相談がありました。ゆにと大学だけでのやり取りに終始せず、個人的にもゆにを利用して頂けるようになると嬉しいです。また、相談を受ける中で、ゆにの企画などへも参加いただき、また継続的に参加したいとの評価も頂いています。このような積み重ねを高校生の障がい学生への相談に活かせるようにしていきます。



ヘルパー派遣事業

ホームヘルパー派遣事業

今年度は、重度訪問介護・地域生活支援事業（移動支援）・重度障害者入院時派遣事業などの制度を利用されている6名の利用者さんへサービスを提供し、約2千万円の収入を得ることができ、法人全体の事業運営を支える存在となっています。その一方で、ヘルパーとして活動する人数は常勤2名を含めて20名ほどです。より安定した運営をめざし、常勤ヘルパーの拡充、学生ヘルパー養成のための研修を進めていくことが課題です。

また、当法人の理念である「障がい学生への支援」を振り返り、障がい学生の生活面に寄り添って考えていける活動をしていきたいと考えます。そのため、障がい学生からの相談業務でのヒアリングを通し、大学生生活を基盤においた生活面での支援体制では何が必要かなどを調査し、障がい学生が抱える課題を解決していければと思います。

重度訪問介護従業者養成研修

2月2日（土）と3日（日）に第7回、6月22日（土）と23日（日）に第8回の重度訪問介護従業者養成研修を実施しました。第7回は学生17名、社会人6名の計23名、第8回は学生18名、社会人6名の計24名に受講いただきました。この2回の受講生の中から3名の方が、ゆにのヘルパーとして勤務を始められました。ヘルパーに関してだけでなく、研修を通してゆにの障害学生支援活動についても紹介し、参加を呼びかけました。この2回の受講生からは、4人の学生がサポートスタッフとしてゆにの障害学生支援の活動に関わってくれています。研修には、過去に本研修を受講し、現在ゆにの様々な活動で活躍している学生の皆さんが運営スタッフとして協力してくれました。

修学旅行支援事業担当の前田です。修学旅行支援は7月からサービス内容及び価格を改定しました。この改定により、料金体系が以前と比べてシンプルなものになり、肢体不自由以外の障がい学生の方への支援にも、ゆにの派遣可能な範囲内で対応できるようになりました。

そして、9月には、長崎県から来た自閉症の中学生の男の子の支援を行いました。自閉症の学生の方を支援するのはゆにとしては初めてなので、準備や当日の対応などで戸惑う部分もありましたが、別の団体で知的障がいの方の支援経験があるゆにの学生スタッフの活躍に助けられ、無事に支援を行うことができました。

10月には岡山県から来た無痛無汗症の小学生の男の子への支援を行いました。この日は朝から豪雨に見舞われ終始カップ着用での支援となりましたが、予定通り東寺や銀閣寺、金閣寺をめぐり充実した内容の一日になりました。

以上、今年度で3年目に突入した修学旅行支援の近況をご報告しました。事業運営の面では、助成金や基金設立による事業運営費調達の検討など、課題は山積みですが、より多くの修学旅行生へのご依頼に応えるため頑張っていきたいです。



平成 25 年 9 月の修学旅行支援の様子